

3月議会

市長不信任決議可決
市長は道理なく議会解散権行使へ

日本共産党

3月議会最終日の24日、受託収賄罪で逮捕起訴された中村晃毅市長の不信任決議が可決されました。市長は「絶対やめない。不信任なら絶対議会解散」する姿勢を変えませんが、市長が解散権行使した場合、それから40日以内に市議会議員選挙になります。

傲慢な市政運営
ついに瓦解

市長不信任決議案は、2月26日に市長辞職勧告決議を否決し苦境に立たされた自民クラブの松崎議員と、辞職勧告を求めた日本共産党の牧野次郎議員が提出者となり、牧野勝子議員始め10名の賛成で提出されました。決議反対の討論をした自民クラブの岩瀬政明議員は「贈賄側被告から請託を受けても実現できなかったので迷惑はかけていない。川上県議員が選挙汚職事件で逮捕されたとき、異議は2年8カ月不在だった。市民は我慢してほしい」と

皆さんの願いが
届きました

- ☆ 災害時の避難で援助が必要な人とは、独居老人や老人世帯のみに限定せず、日中、家族が仕事などで家庭におらず独居状態になる人も該当者とする。
- ☆ 新型インフルエンザの対策を行う。(消防・病院) 感染防護衣上下、手袋、マスク、ゴーグル、シューズカバー 各1000セット ※ゴーグル以外は使い捨て

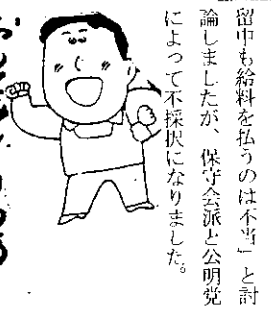
中村晃毅西尾市長不信任決議

中村晃毅西尾市長は、平成21年2月18日夜、名古屋地方検察庁特捜部に逮捕され、この3月10日に受託収賄容疑で起訴されている。この間、市政は大きく混乱し、市民生活に大きな影響を与えている。

このままでは4月臨時会と6月定例会も市長不在の状況が続くこととなる。この責任は、極めて重大であり、まことに遺憾の極みである。

よって、西尾市議会は、中村晃毅西尾市長を信任しない。

以上決議する。
平成21年3月24日
西尾市議会



市長の退職金は、起訴後差止め、有罪なら払われないが、給付も同様とするものです。牧野次郎議員は「市長は、グレーでもダメ。明らかにあった事実だけでもダメ。明らかにあった事実だけでも市長失格で、市民の不信任批判は極みに達している。不信任なら議会解散」と常軌を逸した態度だが、職員なら懲戒免職。市長を居座らせてはいけません。西尾の汚名を、全国に発信し、多大な不利益と迷惑ばかり市民にかけ、勾留中も給料を払うのは不当」と討論しましたが、保守会派と公明党によって不採択になりました。

3月議会の主な案件に対する各会派の態度

議案・陳情等	共	自	清	公	無	結果
介護保険料値上げ条例、平成21年度介護会計予算【保険料値上げ、介護度の引き下げ】	×	○	○	○	×	採択
平成21年度市民病院予算	×	○	○	○	○	採択
平成21年度一般会計予算	×	○	○	○	×	採択
平成21年度国民健康保険会計予算	×	○	○	○	○	採択
「非正規切り」防止、労働者派遣法の抜本改正を求める請願	○	×	×	×	×	不採択
市長の給与、一時金(賞与)の支払い差止め	○	×	×	×	×	不採択

共=共産党 自=自民クラブ 清=清明会 公=公明党 無=無所属
○=原案に賛成 ×=原案に反対 3月全34案件中 日本共産党
反対8件、賛成26件

市長の逮捕・起訴でどうして議会が解散になるのか。市議選など行うなら、今以上に市長への批判は強くなるのに。市長の任期は残りわずか、いまさら市長の不信任決議など採択しなくても、市長はもうすぐ失職する。市議会議員の選挙は税金の無駄づかい、議員の選挙は回避できなかったのか、等等。市民の市長や議員に対する目は大変厳しくなっています。その厳しい市民の目の中に、最近度々議会を傍聴してきた市民から次のような意見が届きました。今回の選挙になったら、議会と市長の馴れ合いの関係をしっかりと見抜いて投票してほしい。議員が市長の犯罪そのものに直接かかわっていたかどうかはとにかく、談合を容易にしてしまうような土壌や、特定の団体に法外な補助金を差し出したことは議会で問題にならなかつたのか。さらに3月24日の最終本会議を傍聴に行ったら、ある議員がまるで市長の下部(家畜)であるかのような発言をしていて呆れた。又、実際、勾留されて市長の仕事がまったくできないならば給与や賞与は棚上げ(無罪なら支給)が当然、それが議会では否決になるのはわからない。次に議員を選挙機会には、普通の市民の普通の思いをかええられる議員であるか、よく吟味したい。



中村市政の二年半の軌跡

汚れた政治をただす日本共産党

市政の歪み 顕著

① 商工会議所に 3億8千万円ポン

中村見殺西尾市長は就任以来三年半が経過しました。今回の逮捕起訴にまつわる各種報道機関の情報などを総合的に勘案すると、これまで日本共産党が予算や決算で指摘してきた市政の矛盾の多くが、贈収賄が影響したり、市長の恣意的、作爲的思惑に起因していたことが少なくありません。

古屋市では補助なしです。

市長は、商工会議所が新館を建設するに当たって、土地建物の二分の一の額3億7800万円を補助しました。この補助額を正当化するために、市側は全県下の補助率の高い自治体だけを並べて、だから正当というやり方をしました。しかし、それでは、真の意味の情報開示とは言えません。ちなみに岡崎市は補助率5・6%、名古屋市では補助なしです。

比例代表予定候補



佐々木憲昭 衆議院議員

せこゆき子 元衆議院議員

八田ひろ子 元衆議院議員

西松建設からの献金で小沢一郎氏の秘書の大久保隆規氏が起訴され、それでも小沢氏は民主党首統領を表明していますが、世論を見ながらの綱渡り。一方、自民党側も複数の国会議員が西松建設から献金を受けており、同じ穴のむしな。

まさしく、企業から献金をもらい、企業から注文を付けられる党か、献金をもらわず企業にキツペリものを言うことができる党かで、国民の利益を代表できるかがわかります。企業献金も政助成金ももらわない日本共産党を躍進させて下さい。



何故、商工会議所に突然多額の税金を補助することにしたのか、このことが事件の贈賄側の要求に応えたものであることは明らかです。報道によれば贈賄側の容疑者

商工会議所への補助金を正当化するために、市長は平成19年度の施政方針演説で10カ年計画にも3カ年計画にもない西尾城再建話を突然提案しました。そしてそのために錦城体育館を早急に取り壊すことが必要とし、その根拠に錦城体育館はアスベストを使用しているからとの理由をいきました。

しかし、震災対策を言うのであれば、児童館や米津ふれあいの館は建物昭和30年代40年代に建設され、古すぎるの理由から耐震調査さえしていません。真に市民の安全に配慮するならば、これらの危険な建物を放置したまま錦城体育館だけ取り壊すの、不公平です。

② 調整区域を市街化へ

贈賄側容疑者が所有していた市内熊味町珠弥堂の1帯の土地を、調整区域から市街化区域に用途変更を求めたのに対して西尾市は、この地域の用途を市街化区域に編入する計画を策定し、都市マスタープランに掲載しました。(200年度)担当者は計画に入れただけで実施はしていないと述べています

が、計画書に入れた内容が容疑者の要望であったことは、確かです。

議会解散は 職権濫用

議会が、市長に不信任を決議したのは、世論を反映して当然のことですが、これに対して市長が議会の解散権を振るうのは、その乱用です。

議会を解散するのは、議員と市長の政策が対立する場合です。今回は、市長の不正行為が問われているだけで、議員には責任はありません。

収賄市長は早期辞職をやめさせる会でリコール運動

3月22日、福地ふれあいセンターで(仮称)市長の早期辞職を求める市民の会(代表 林浅吉)主催で、受託収賄で市長が逮捕起訴された事件を受け、緊急の市政懇談会が開かれました。

主な参加者の発言

「議会はなぜ早く、不信任をするべき」「市議会議員選挙になってもそれは民主主義のコストで仕方ないこと」「市長の問題で、議会解散とは、どうにも腑に落ちない」「市民の声を上げるべき。市民から市長リコールする運動を早く行ってほしい」「たとえ、議会解散になっても、リコール運動などを同時にやって言ったらどうか」などの意見がたくさん出されました。

最後に、早急に正式な会を立ち上げ、市民の手で市長のリコール運動を行うことが確認されました。



日本共産党西尾市議団



牧野次郎 議員



牧野勝子 議員

TEL 57-3064

TEL 59-8424

FAX 54-0325

FAX 59-0464

生活相談 サラ金、労働問題などのくらしの相談に応じますので、ご連絡ください。

法律相談 また、法律の専門的な問題には、弁護士^の無料相談もあります。毎週火曜日午後6時から8時、1件30分。予約が必要です。議員又は下記へ、日本共産党西尾市委員会 TEL&FAX 54-4421